

VI 学校研究

1 研究主題

自分らしく学び、「わかった」「できた」を自覚する児童の育成

2 主題設定の理由

(1) 学校教育目標から

予測困難な時代であっても、社会の変化に主体的に関わり、多様な他者と協働しながら課題を解決したり、新たな価値を創造したりして、よりよい社会と幸福な人生を創っていく姿が、私たち指導者の求める「子どもの姿」である。そこで学校教育目標を「心豊かで、たくましく生きる子の育成」と掲げた。学校教育目標の実現に向け、新しい時代に生きる子どもたちが課題に突き当たったときに、これまでに培った力をいかし、他者と協働しながら課題を乗り越える中で、解決につながる新たな考えやよりよい考えを、自ら生み出そうとする力を育成しなければならないと考える。

(2) これまでの研究の経過から

昨年度は、「自分で学び方を選び、みんなでわかるにつなげる」という姿を目指した。そのために、教師が児童のつまずきを予想し、見取り、手立てを考え、児童に学び方を自己選択させることで、多様な学習者に応じた学びを保障する授業づくりを行ってきた。

前期は、自分に合った手立てを選び、一人で悩み続ける時間をなくすために「つまずき想定表」を活用した。また、目的のある交流の場を設定した。その結果、児童が自分で学び方を選ぶことで、一人で悩み続ける時間をなくしたり、時間いっぱい活動したりすることができるようになってきた。教師は教材研究や授業の組み立てを見直すことができた。

中期では、「つまずき想定表」は続けながらも、授業の初めに「今日のゴールの姿を3回共有する」ことをワンステップとした。共有する場面を具体的に検討したため、共通行動にすることができた。その結果、教師が具体的な今日のゴールをもって授業に臨めるだけでなく、児童も同じ認識で取り組むことができた。

後期では、「目的のある交流の場を設定する」ことをワンステップとした。ねらい達成に向かう学び合いの場を意図的に作り出すことで、みんなでわかるにつなげていく工夫をした。誤答を取りあげたり、仲間分けをしたり、関係性を見つけたりと様々な目的を設定することで、児童同士が考えを出し合い、ねらいに迫ろうとしてきた。

(3) 今年度の取組

今年度は、今日のゴールの姿の共有を継続して取り組み、委ねる場を設けて必要に応じて支援する授業づくりを行う。その際に、教師は、端末の活用や、ヒントの準備、つまずきの想定等をしておく必要がある。また、個に戻し自分がどこまで分かっているかを振り返る場を設定する。具体的には、授業の展開や終末に自分の言葉で説明したり、書いたりして児童が学びを自覚できるようにする時間を設けていくようにする。

3 研究の内容

(1) めざす児童の姿

分らないことを分かるようになるための方法を自分で決定し、実行している

自分の学びをアウトプットし、分かったかどうかを自覚している

(2) 研究仮説

教師と児童が、同じゴールを共有し、分かるようになるための方法を自分で決定・実行することで、多様な学習者に応じた学びが保障でき、学び合いができるようになるだろう。また、個に戻す

場面を設定し、自分がどこまで分かっているのかを自覚させることで、自らをメタ認知する力を身に付けることができるだろう。

(3) 研究方法の具体

<授業づくり>

- ① 今日のゴールの姿を2回共有
- ② 委ねる場を設け、必要に応じて支援する。
 - ・最適な学びのコーディネート
 - 〔端末・ヒント・コメント機能・友達や教師に聞く・発展問題・教える側へ・個別支援 等〕
- ③ 個に戻す場を設定する。
 - ・展開や終末で自分の言葉で言わせたり、個で考えさせたりし、現時点でどこまで分かっているか、どこが分かっているのか、今日の学習が分かったかどうか等を自覚させる。

<基礎基本の定着>

- ・漢字計算コンテスト
- ・朝学習（必要に応じて朝読書タイムを使う）
- ・家庭学習

<学び合いのための環境整備>

- ・話し方・聞き方「あいうえお」の掲示
- ・声の物差しの掲示

<三偉人の教えを受け継ぐ教育活動>

- ・勤堂塾を開いた原勤堂
- ・乗客の命を救った久田船長
- ・6代目横綱 阿武松緑助

(4) 研修計画

月	取 組 内 容
4	・全体研修【研究の方向性・取組の重点・校内研修計画の共通理解】 ・全体研修【学力向上ロードマップ・プランの共通理解】
5	・全体研修【指導案の形式】 ・全体研修【全国学力・学習状況調査 県基礎学力調査・町学力調査結果分析の共有】 ・全体研修【指導案検討・模擬授業】
6	・研究授業・授業整理会【指導主事計画訪問 A 6年】 ・研究授業・授業整理会【複式担当者研修 公開授業 3・4年】
7	・全体研修【指導主事計画訪問 A の振り返り】 ・全体研修【1 学期校内研究の成果と課題】
8	・全体研修【校内サポート研修】 ・全体研修【指導案検討・模擬授業】
9	・全体研修【前期プランの結果共有・中期プランに向けて】
10	・全体研修【指導案検討・模擬授業】 ・研究授業・授業整理会【指導主事計画訪問 B 2年】 ・研究授業【能登町学力向上実践研究推進事業 1年、3・4年、6年】
11	・全体研修【取組の中間確認】
12	・全体研修【2 学期校内研究の成果と課題、中期プランの結果共有・後期プランに向けて】
1	・全体研修【指導案検討・模擬授業】 ・研究授業・授業整理会【要請訪問 2年】
2	・全体研修【担当校訪問】
3	・全体研修【今年度の校内研究の取組の成果と課題】